

## 検査室スタッフの災害対応能力向上に向けての取り組み

◎武井 崇弘<sup>1)</sup>、竹野 祐希<sup>1)</sup>、高山 政幸<sup>1)</sup>、中野 聡<sup>1)</sup>  
社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院<sup>1)</sup>

【はじめに】当院では防災委員会を設置し、災害（自然災害・人為災害・特殊災害）からの患者・家族・職員・訪問者など救済、医療機能全般の維持、災害対策と防災管理体制の構築を検討している。

災害時には多くの傷病者が搬送されることが予測され、当院の臨床検査技師の役割として365日24時間緊急対応可能な体制の構築と、質の高い臨床検査データの提供が要求される。さらには検査室の復旧・維持管理も必要事項となる。年1回、委員会の活動で消防訓練が開催されているが、検査室スタッフ個々の理解度の確認は実施されていなかった。今回検査室スタッフを対象にe-learningを実施し、災害への意識調査と理解度確認を行ったので報告する。

【対象・方法】災害が管理者不在の状況や夜間・休日に発生した場合でも検査室スタッフが緊急対応を担わなければならないことを想定し、臨床検査技師49名と事務職員2名を対象とした。実施方法としてはe-learningを用い、理解度の確認と学習、アンケートによる意識調査を行った。

【e-learning 結果】対象の職員全員からの解答を得た。年1回、部

署内の消防訓練を実施しているが、地震が発生した場合自主的に出勤する震度を理解している59%、災害時参集する場所を理解している75%、火災報知器や消化器の場所を理解している73%、災害時検査科の院内での役割を理解している76%、災害時チェックシートについて理解している51%であった。今回の調査により理解度は個人差があるものの、年1回の防災委員会からの訓練を受けていても知識の習得には至っていないことが分かった。その後e-learningにて全正解率が100%になるまで繰り返し学習を行った。

【考察】今回の取り組みにより災害時の検査室の行動がイメージできたとの回答が98%となり災害について考える良い取り組みとなったと考える。またシステムが停止した際の研修を行った方が良いという意見が63%あり、災害時の臨床への迅速な報告体制やライフラインが停止した際の対応についても検討する必要があると感じた。今後ともこの取り組みを継続し災害対応能力を向上させていきたい。

連絡先：0263-33-8600（内線：1406）